

【著者紹介】

星野 幸代 HOSHINO Yukiyo

名古屋大学大学院人文学研究科
近現代中国文学・近現代日中比較舞蹈史

『日中戦争下のモダンダンス——交錯するプロパガンダ』、汲古書院、2018年／「抗日舞蹈と育才学校の接点」、馬場毅編『多角的視点から見た日中戦争——政治・経済・軍事・文化・民族の相克』集広舎、2015年／「抗日戦争時期跳在上海の舞蹈家」、大橋毅彦・趙怡・榎本泰子・井口淳子編『上海租界と蘭心大戲院——東西芸術融合交匯の劇場空間』上海人民出版社、2015年

城山 拓也 SHIROYAMA Takuya

立命館大学言語教育センター外国語嘱託講師
中国近現代文学、モダニズム、漫画研究

『中国モダニズム文学の世界——1920、30年代上海のリアリティ』、勉強出版、2014年／『ドラゴン解剖学・竜の子孫の巻——中華文化スター列伝』（共著）、関西学院大学出版会、2016年／『『Bringing Up Father』から『王先生』へ——葉浅予と1920年代上海の都市文化』、『マンガ研究』第23号、2017年など。

楊 韜 YANG Tao

佛敎大学文学部
中国近現代史、メディア論

『近代中国における知識人・メディア・ナショナリズム：鄧韜奮と生活書店をめぐる』、汲古書院、2015年／『モダン・空間・異文化：東アジアの広告文化論』、朋友書店、2016年／『メディアというプリズム：映し出す中国・日本・台湾の歴史と社会』晃洋書房、2018年

葛西 周 KASAI Amane

東京藝術大学大学院他・非常勤講師
音楽学

『多角的視点から見た日中戦争：政治・経済・軍事・文化・民族の相克』（共著）、馬場毅編、集広舎、2015年／『〈戦後〉の音楽文化』（共著）、戸ノ下達也編、青弓社、2016年／『植民地期台湾の映画：発見されたプロパガンダ・フィルムの研究』（共著）、三澤真美恵編、東京大学出版会、2017年など。

鄒 韻 ZOU Yun

名古屋大学大学院国際言語文化研究科
ジェンダー学

『『乙女の港』における少女表象』、『多元文化』（17）、名古屋大学大学院国際言語文化研究科、2017年

牧 千夏 MAKI Chinatsu

名古屋大学大学院文学研究科
日本近代文学・宮沢賢治

五嶋千夏『『文明の没落』読者としての宮沢賢治——『農民芸術概論綱要』における影響と同時代的な位置』、『宮沢賢治研究annual』21、2011年／五嶋千夏『もの足りない農本主義——宮沢賢治「ポラーノの広場」における産業組合と『家の光』——』、『日本文学』62(6)、2013年／牧千夏『山男の近代——宮沢賢治「紫紺染めについて」論——』、『賢治研究』129、2016年

李 承俊 LEE Seungjun

名古屋大学大学院人文学研究科
日本近現代文学・文化史

『「津軽人」太宰治の疎開——「十五年間」、「やんぬる哉」を中心に』、『跨境 日本語文学研究』2、2015年／『「昭和の楠公父子」になるために——学童集団疎開・七生報国・先祖の話』、『社会文学』44、2016年／『「不確かな私」のために召喚される母の死——高井有一「北の河」論』、『名古屋大学国語国文学』109、2016年

茂木 謙之介 MOTEGI Kennosuke

日本学術振興会
表象文化論・日本近代文化史

『怪異とは誰か』（編著）、青弓社、2016年／『表象としての皇族 メディアにみる地域社会の皇室像』、吉川弘文館、2017年／『蓮田善明と近代天皇——〈日本文芸学〉との関りから——』、奥山文幸編『蓮田善明論 戦時下の国文学者と〈知〉の行方』翰林書房、2017年

北村 洋 KITAMURA Hiroshi

ウィリアム&メアリー大学歴史学部
米国国際史・文化史・映画史

『敗戦とハリウッド——占領下日本の文化再建』名古屋大学出版会、2014年／『ブルース・リーと『帝国』アメリカ——『コラボレーション』のポリティクスについて』、『現代思想』第41巻13号、2013年／『アメリカを『弄る』日本——映画と戦後日米関係について』、『立教アメリカン・スタディーズ』第38号、2016年

笹川 慶子 SASAGAWA Keiko

関西大学文学部
映画産業史・映画史

『明治・大正 大阪映画文化の誕生』関西大学大阪都市遺産研究センター、2012年／編著『公益財団法人三菱財団助成研究 日本映画雑誌所在調査報告書』上下、2015年／共編著『大阪時事新報記事目録——文芸と映画編 昭和Ⅰ』関西大学出版部、2011年

藤木 秀朗 FUJIKI Hideaki

名古屋大学大学院人文学研究科
映像学

Making Personas: Transnational Film Stardom in Modern Japan,
(Harvard University Asia Center, 2013) / *The Japanese Cinema
Book*, co-ed. British Film Institute, forthcoming / 『映画観客とは
何者か——メディアと社会主体の近現代史』名古屋大学出版会、近刊

浮葉 正親 UKIBA Masachika

名古屋大学国際機構国際言語センター
文化人類学・民俗学

『韓国の男巫の異性装とその歴史的背景』、服部早苗・新實五穂編『歴史
のなかの異性装』、勉強出版、2017年 / 『異人論からみた韓国の巫俗
——ソウルの村祭りを中心に』、山泰幸・小松和彦編『異人論とは何か
ストレンジャーの時代を生きる』、ミネルヴァ書房、2015年 / 『在日朝
鮮人文学の研究動向とディアスポラ概念』、『名古屋大学日本語・日本
文化論集』第20号、名古屋大学留学生センター、2013年

秋庭 史典 AKIBA Fuminori

名古屋大学大学院情報学研究科
美学・芸術学

『人工知能と美学』『人工知能学大事典』共立出版 2017 / A New Kind
of Aesthetics, *Philosophies*, 2017, 3, 14 (共著論文) / 『あたらしい
美学をつくる』みすず書房 2011

栗田 秀法 KURITA Hidenori

名古屋大学大学院人文学研究科
近代美術史・博物館学

著書に『ブッサンにおける語りと寓意』(三元社、2014年)、共著に『絵
画と表象I (フランス近世美術叢書IV)』(あいな書房、2015年)、企画
展に『没後50年 ボナール展』(愛知県美術館他、1997年)など。

茂登山 清文 MOTOYAMA Kiyofumi

名古屋芸術大学芸術学部
視覚文化・情報デザイン

『ヴィジュアルリテラシー スタディーズ』中部日本教育文化会、2017
年 / 『情報デザインバイシクス』ユニテ、2008年 / 『可視化の図学』ダイ
テックホールディング、2007年

洞ヶ瀬 真人 DOGASE Masato

中部大学他・非常勤講師
映像文化学・映画史

論文に、『対話を触発するドキュメンタリー——60年代学生運動映画
の表現様式をめぐって』(『JunCture 超域的日本文化研究』8号、2017
年)など。翻訳に、アaron・ジェロー、マーク・ノーネス『日本映画研
究へのガイドブック』(ゆまに書房、2016年)。

陳 晨 CHEN chen

名古屋大学大学院博士研究員
愛知工業大学、名古屋文化短期大学非常勤講師

日本現代文学、比較文学、ジェンダー文化史

『越境する『ひとり日和』から『青山七恵ブーム』へ——日本現代文学の
中国での受容と翻訳を考える』、『名古屋大学国語国文学』109号、名
古屋大学出版社、2016年 / 『中国のネット文化とウェア——大衆文化の
「屑糸」「腐女」における「抵抗」表象の分析を通して』、『中国女性史研究』
第25号、中国女性史研究会、2016年 / 『多元文化与全球化視野下的日
中女性主义理论发展现状与比较』(A Sino-Japanese Comparative
Study focusing On Women's Writing in A New Age)、裔昭印編
『妇女与性别史研究丛书』SDX Joint Publishing Company Press、
2017年